

**【西宮断酒友の会 第12回 <体験談を語る集い>**

**講師：中田 陽造 先生（神戸協同病院特別指導医）**

**テーマ：アルコール依存症って、どんな病気？」**

**回復への道・・・なぜ断酒会なのか**

於：若竹公民館講堂

**主催：西宮断酒友の会**

**中田陽造先生の講演**

・おはようございます。中田です。私は西宮の住民なんです。そういう関係がありまして、ここの断酒会とは古くからのお付き合いで。元々は阪神断酒会の西宮支部と言ってました。その阪神断酒会の西宮支部の時からのお付き合いでありまして、その頃は五十川さんっていう方が支部長しておられたんです。彼が「西宮の断酒会も独立しようと思うんですが」とおっしゃいましたんで。「大変良い事やから、僕も住民として、全面的に協力するから独立しなさい」言うて阪神断酒会から独立した西宮断酒会、最初の断酒会の名前です。で、色々あったんです。色々あるのは横に置きまして、次は西宮断酒会から、西宮断酒会新生会っていうのが出来たんです。その次に、西宮断酒会新生会から、この西宮断酒友の会が出来ました。最初の西宮断酒会っていうのは、地域の名前です。そこを出た時に断酒会の名前どうしましょうかと、相談受けたんです。で、日本の断酒会の原点は、高知と、東京にある東京断酒会新生会と、高知断酒会新生会ですね。だから、「新生会にしたらどうですか？」と、僕がお勧めした。それで西宮断酒会新生会が出来た。そこから、また、この西宮断酒友の会の初代の会長の桑野さんが新しい断酒会を造られたんですが、その時桑野さんが私んところへ、「新生会があって、西宮断酒会があって、その次にどういう名前にしたらいいですか？」と聞くから「そもそも日本の断酒会の原点の名前は東京断酒友の会と言った。その会は、もう東京にはありません。元々は日本禁酒同盟が、東京の本郷教会で月例会(月1回例会)をやっていました。月例会をやっていた禁酒同盟っていうのはキリスト教がスポンサーです。その日本のキリスト教が、アメリカでA. A (Alcoholics Anonymous) という会が成功しているという話を聞いて、救世軍の山室武甫(ぶほ)という人をアメリカへ送ってA. Aを勉強させたんですね。昭和26年です。山室武甫(ぶほ)さんが、研究してきて色々な資料を持って日本へ帰って来られた。それから禁酒同盟と、救世軍とが、研究を重ねましてねえ、昭和28年まで、2年間も研究した。中々しっかりしてますわあ。2年間研究に研究を重ねて、A. Aをそのまま入れたら、日本では拒絶反応を起こす。何故かと言ったらA. Aは宗教なんです。A. Aが宗教であるという事をねえ、今頃あまり知られてないんですね。だけど、私はアメリカに6年留学したので、上手じゃないんだけど、英語を読めるんです。この仕事を始めるにあたってA. Aのビッグブック(BigBook)、こんな厚い本を読んだんです。そしたら、そこに一番大事な事が書いてあるのが、この別紙(チラシ)の、こういう風に横向きにして下さい。・・・左手の下の所に書いてあります。A. Aのこの下に書いてるのがねえ、A. Aの大事な原則の最初の3つです。・・・(読まれる。)・・・1. .我々は酒に無力である事を認めます。えー。2番目、PowerはPが大文字です。英語では大文字で書いてあるのは神を意味するんですね。我々よりも偉

大なる神があってその神が我々を正気に戻してくれる事を信じる。believe、信じるです。はっきり書いてある。・・・3番目、我々の身も心も神のケアにお任せします、と。神に我々の身も心もお任せしますと書いてあるんですね。これが向こうの非常に大事な・・・。神というのは唯一絶対的な神で、「神の言う事を聞かなかつたら死後の霊魂が地獄に落ちる」という信仰ですね。ユダヤ教から、キリスト教に。ユダヤ教から、イスラム教にと、一神教なので神様は一人です。基本的なところはですね、キリスト教徒が言うてる旧約聖書。私はアメリカに行った時に最初の2年間はニューヨークにあるユダヤ系の大学病院におったんです。ユダヤ人と友達になった、2年間。ユダヤ人が言うのには、「キリスト教徒の旧約聖書、the Old Testament、あれは間違いであって、あれが唯一絶対的な聖書である。「聖書」は「神の言葉」なんです。それは絶対的で、本当は翻訳してはいけません。それをユダヤ人はタナックと言うんですね。TNKと書いて。ユダヤ語には“A、I、U、E、O”という字が無いんです。ですから、子音がズラズラーっと並んでいるのを如何に発音するかっていうのは、旧約聖書の事をTNKというんですが、その旧約聖書の中に書いている言葉がキリスト教でthe Old Testamentとしている。それがユダヤ人には許しがたい事だと言うんです。それが最後にはイスラム教でクルアーンの中にも取り入れられている。クルアーンというのはアラビアの言葉でして、日本ではコーランと言うてます。これをコーランとイスラム教徒に言うたら殺されます。クルアーンと発音せないかんのですが、とにかく、一神教の最後になったクルアーンの中にはですね、神の絶対的な禁止命令がはっきり書いてあるんです。具体的に神様がやったらいかんて言うのは、①占い事をしたらいかん。②賭け事をしたらいかん。③偶像を崇拝にしたらいかん。だから、タリバンがバーミアンで仏像を爆破するんですね。あれは現在は文化遺産ですけどね。イスラム教徒にとっては、あれは偶像なんですね。だから、偶像を崇拝しないように爆破していきます。その次に4番目が、「酒飲んだらいかん！」。イスラム世界では。クルアーンに書いてある。絶対にいかんと書いてあるという事はその他の一神教でも、キリスト教も、ユダヤ教も基本的には好ましくない。ただ、イスラム教のように、はっきり言葉には書いてないだけで、で、その4つの禁令を破ったらですね、政府の裁判官じゃない、聖書というのは「神の言葉」を書いてあるから、それに対する違反はですね、教会の坊主が死刑を宣告するんです。で、その死刑はねえ、イスラムの時代の死刑は「石打の刑」といって、市場の中に穴を掘って下半身を埋めて、町の人が石を持ってきてボーンとぶつけるんです。「石打の刑」です。で、石で埋まるまで積み上げて、で、取り除いて全く無傷であれば、神様はこの人を無罪だと認めたと言って解放されるんですね。そんな事ありえないですよ。ですから、酒というのはイスラム世界では絶対にいかん！他の一神教でも基本的にはいかんのです。私はニューヨークに2年おって、その後、ワシントンDCの郊外のメリーランド州の連邦政府のメディカルセンターに4年おったんです。大体、東海岸っていうのはですね、基本的にはカトリックであるイギリスから新教徒（プロテスタント）が迫害されて、逃げて来たんだから、あの辺のアメリカの地方をニューイングランドというんです。ニューイングランドというのはイギリスから逃げてきた人達が国を造ったからニューイングランドというんです。非常に敬虔なキリスト教徒です。新教というのはカトリックに抵抗したプロテスタントですけども、皆さんは、マルティン・ルターをご存じだと思うんですけども、ルターは学者なんですね。それで、聖書を初めてドイツ語に翻訳した。聖書はラテン語で書いてあったんです。えー、向こうの人は、教養のある人はラテン語を読んで書けるんです。けどそれはもう死んだ言語なんです。ラテン語からイタリア語ができ、ラテン語からフランス語ができ、英語ができ、ラテン語からドイツ語が出来た。そのヨーロッパの言語の原点がラテン語です。それは現実に

は死んでいるわけです。しかしラテン語は色んな所に出て来てますねえ。皆さん方幾らかは聞き覚えてらっしゃると思うんですけども、元々アメリカで起こった断酒運動の事をアルコールックス アノニマスと言うんですね。アルコールックスというのはアルコール依存症者。アノニマス (Anonymous) のAは打消しですね。ノーマルは正常でしょう。アブノーマルは異常でしょう。そういう風にですねえ、Aが前についたら打ち消すんです。アノニマスのノム(nom)というのはラテン語なんです。ラテン語から英語になってネームになり、ドイツ語ではナーメになったんです。Aでノム(nom)を打ち消しているという事は匿名ではないんです。匿名とは名前隠すんです。アノニマスは無名なんです。何で無名かと言うとちょっと日本人には理解が出来ないけど、私は6年間も、アメリカで非常に敬虔なクリスチャンの多い、東部で生活していましたから、生活の実態として知っているんですね。向こうの人達は普通子供が産まれますとねえ、自分たちの所属するキリスト教会へ連れて行く。そのキリスト教会へ連れて行って、カトリックでは神父さん。アメリカでは大部分がプロテスタント。プロテスタントであれば牧師さんが、「洗礼」という、クリスチャンになるという儀式洗礼をしてくれる。洗礼をしてくれたらその時、神父さん或いは牧師さんが洗礼名、クリスチャン名を付けてくれるんです。で、僕の最後のメディカルセンターの直属の上司は、ジョン・ポール・ベダー。ジョンというのは自分の親が付けてくれた名前。ベダーは家の名前。真ん中にあるポールという名前が洗礼名。で、A.A は洗礼名でお互いを呼び合う。決して匿名ではない。何で洗礼名で呼び合うかと言うたら、神の一族になるという印なんです。神の一族になったら、神様のいう事を聞かなかったら、死後の靈魂が永遠の地獄に落ちる。それを彼らは信じているんです。本当に信じてるんですよ。僕は6年間アメリカに居って色んな人に接しました。最初の2年間はどちらかというユダヤ人が多かったですねえ。ユダヤ人は勿論、一神教の原点ですから、死後の靈魂を信じていて、その靈魂が地獄に落ちるという事を信じている。キリスト教徒も信じている。勿論、イスラム教徒も信じてます。ですから現在、イスラム世界では激しい戦いがあるでしょう。あれ、あんまり良くないですねえ、宗教というのは信じる信じないは別として、僕は信じてませんが、勉強して理解せんといかんです。元々のイスラム教も、時代と共に宗派が別れたわけです。キリスト教でも、カトリックと、プロテスタントが別れましたねえ。それと同じように、スンニ派とシーア派と2つの大きな宗派があるんです。許しあえないんですねえ。認め合えない。シーア派の中心はイラン。スンニ派の中心はエジプトなんです。所謂東の方はシーア派、西の方がスンニ派なんです。この両方の勢力が重なっているところがパレスチナなんです。シリアはそういう風に重なっている場所なんです。ですから、スンニ派とシーア派の人が混在しているんです。派が違うと全くの敵対関係ですねえ。あそこの大統領はイランの系のシーア派なんです。今、抵抗しているのはスンニ派なんです。で、それはお互いに絶対許しあえない、絶対的な神様があるからね。そういう風に神が出てくると非常にややこしい。有り難い事に日本には神が無いんです。だって“捨てる神あれば、拾う神あり”とか言うでしょう。これ全然無いんですわ。八百万（やおよろず）の神様がいらっしゃるからねえ。そういう所に我々はおるわけですから。その神に逆らう事によって死後の靈魂が地獄に落ちるという事でブレーキは掛からない。しかし、一神教では掛かります。でも、日本というところではね“赤信号皆で渡れば怖くない。”という国ですから、「皆と一緒」という事が非常に大きなブレーキになるんですねえ。だから、「断酒会」。だから、「断酒会」。

余計な事を私はすぐに言うてしまうので、脱線しますから、あまり脱線しないようにとお渡ししたのは、

社会福祉指導主事コースでの医学の講義をするために使っているパンフレットでありまして、元々それは、私がお阪大学におった時に作った講義用のパンフレットの改版ものです。私の講義は1年生対象なんです。同時に奈良医科大学でも、非常勤講師をさせられまして、それも1年生なんです。1年生はね、皆さん方と全く同じ様に医学の事なんか知らんわけですねえ。高等学校の知識があるだけで、そういう人達に医学のアウトラインを教えるのが私の仕事でしたんで、こういう風なサブノートを作って、要点を絶対に把握して貰おうというのが方針で作った。第一版は50年前に作った。それから改版を重ねてこれは第8版からのコピーなんですけど、現在も研修センターでサブノートとして使っているもののコピーであります。タイトルとしては「吾身もあるをも知らぬが最高の楽」。これは、後でこの文言を作った人の名前が出てまいります。人間はねえ、そこに書いてあるように人間は誰でもですよ。四苦八苦する。四苦八苦っていう言葉はご存知ですねえ。僕は何でも中途半端は好きじゃないんで、何や？という事を調べるんです。そこに最初に書いてるように「生（しょう）老病死」で四苦です。これ「生」と書いて、（しょう）と発音する場合と（せい）と発音する場合があります。（せい）と発音する時は「人生」ですね。（しょう）の時は「誕生」なんです。ここの字は（しょう）なんです。生まれるから老いてくる。生まれるから病むんです。初めがあれば終わりがある。で「生（しょう）老病死」で4つの苦しみ。生まれたら、その他にどんな苦しみがあるか？という、次に書いてます。「愛別離苦（あいべつりく）」「怨憎会苦（おんぞうえく）」「求不得苦（ぐふとくく）」「五蘊盛苦（ごうんじょうく）」。これも全部中国語。中国は偉い国ですわ。今はあんまり偉いとも思わんけど、元々は偉い国です。今でも、偉い人いると思うんだけどね。でも、人数が多いとね色んな人。で、まあこれは中国の文言ですけども。「四苦八苦」も中国の文言です。「愛別離苦（あいべつりく）」読んで字のごとく、愛する者と別れ離れなければならない苦しみ。「怨憎会苦（おんぞうえく）」嫌な奴と顔を合わす苦しみ。「求不得苦（ぐふとくく）」求めても得られなかった苦しみ。一所懸命働いてもね、それほどお金はくれません。一所懸命働いても、ちょっとした事で怒られます。で、一所懸命働いたからそれなりの見返りが欲しいと求めると、求めても得られなかったという苦しみがあるんです。一所懸命断酒会へ来て、酒害者の更正に努力されてても又飲まれてしまう事がある。「私がこんなに一所懸命したのになんや！」って怒ったって、それはそういう事やと昔の人が言うてます。「求不得苦（ぐふとくく）」求めても得られない苦しみはあるんやという事。生きてる限りはあるんです。「五蘊盛苦（ごうんじょうく）」古い中国語でして、現在の言葉で言えば、五体が盛んである事が苦しみを生む。そういう事は無いでしょうと思うわね。僕みたいに歳を取ってたり、私のように病気を持っていたりすると苦しいだろうけど、若くて元気ならば苦しみは少ないだろうと思うね。しかし、少なくとも僕に関していえば若い時の方が苦しみが多かった。えー、大学医学部6年行って、インターン1年して医師免許を取って、又勉強しようとして大阪大学の大学院を4年やって、又勉強しようとしてアメリカに行って、向こうの奨学金を貰って、ニューヨークで2年、ワシントンDCの郊外で4年。ようやく日本に帰ってきた。で、席順が一番か二番上がっていると思ったら、元の医局に帰ったら僕の席順が一番下がっていたんです！「求めても得られない苦しみ」ですね。これ若かったから、求めるんですよ。今だったら、そんなもんでもいいですわ。生きるのが精一杯でしてね。で、今は「求不得苦」も無いし、妻が先に死んで、子供が別居していても、「愛別離苦」も無いし、「怨憎会苦」も無い。その代わり老いてゆく苦しみ、病気を持っている苦しみてのはありますね。そういう事になればですねえ、前の四つ。後の四つ。足して八つ。で「四苦八苦」するという言葉が出来てくるわけですよ。皆さん方はこんな事当てはまらんと思うかもわからんけども、私はこの言葉が全部当てはまり

ます。だから人生は“苦”なんですよ。人生は“苦”なんです。でも苦であるとね、ついついそこから逃れたいくなるんです。で、その為の精神作用物質はもう非常に即効薬ですね。中毒症というのと、依存症というのがあります。「中毒症」というのは化学物質による身体的な疾患です。病気です。身体的な疾患です。それに対して「依存症」というのは精神的な障害なんですね。疾患ていうのは例えば風邪。風邪は酷かったらクシャミをしたり、鼻水が出たり、熱が出たりしまして、場合によっては肺炎を起こして死んでしまう事もあります。治る事もあるんです。障害ていうのはね、例えば腕が一本取れてしまった人。生きてきません。でも腕が一本無くても死にはしません「疾患」というのは健康と死との間の過程、プロセスであります。障害は固定した不都合であります。精神作用物質を連用しますと、「嗜癖」(しへき) 難しい言葉ですね。医学には難しい言葉が一杯あるんです。嗜癖ていうのは精神的な依存です。そしてそれが切れた時に起こってくる退薬症状、離脱症状、昔は禁断症状と言いました。これ別に禁断症状でもかまわんと思うんだけど、医学ていうのは新しい言葉を作りたがるんです。難しい言葉を知らんとあいつはアマチュアだ、偽者だと決めつけるんですね。この歳になると私はわざと知らんふりしますが、別に禁断症状でも何でもいいと思うんだけど。離脱症状、退薬症状というのが馬鹿にされないですむ言葉であります。そういう事が起って来て、結局乱用を起こす事になります。薬物依存についてもありますけれども、それは横に置いて、今回のテーマはアルコールですから「アルコール依存症」についてだけ簡単にアウトランを話します。アルコール依存症ていうのについて、文献で当たってみますと、昔から随分あるんです。最近起って来たんじゃないんです。私は歴史が好きですから、特に中国の歴史が大好きでして、中国に晋という国がありまして、弱い国なんですね。非常に弱い国なんですけれども。桓温(かんおん) 将軍という唯一の戦争の上手な将軍がいました。その将軍が戦争に上手だったのはですね、参謀が良く切れてたからですね。その戦争の上手な参謀はその後の方に書いてますが孟嘉(もうか) という方なんですね。孟嘉という参謀が非常に戦略が上手なんです。その為桓温将軍は勝っていたんです。その孟嘉さんはいつでも酔っぱらっていたと文献に書いてある。私が孟嘉さんに会ったわけではありません。文献に書いてある。いつでも酔っぱらってる。この孟嘉さんていうのは、中国に三大詩人ていうのがいますねえ、古いのから言えば、陶淵明(とう えんめい)、李白、白樂天この3人は中国の文学史上の三大詩人と言われてるんですが、一番昔の詩人が陶淵明ていう方ですね。その陶淵明の母方の祖父が孟嘉さんでして、桓温将軍はいつも孟嘉さんにねえ「お前さんはどうしてそんなにようけ酒飲むのか？」と言うたそうです。孟嘉さんは文学者じゃありませんでねえ、あの兵隊さんですからね。単純な事しか言えない。で孟嘉さんは、どういったかと言ったら「君はいまだ酒中趣(しゅちゅうしゅ)を知らざるのみ。」「桓温将軍よ、酒飲んだ時の良さ、あの酒の良さを知らへんから、『何でいつも酔っぱらっているんや。』とそんな事を言うんや。」と笑って答えなかったと。君はいまだ酒中趣を知らざるのみ。“酒中趣”ていうのがねえ、酒の良さなんです。この酒中趣ていうものをもっと文学才能のある人、だから人に訴えかける事の出来る人が説明してます。その酒中趣を説明した中国の僕が大好きな李白(りはく)さん。これは中華料理店の名前じゃありませんよ。中華料理店に李白ていうのが多いのは恐れ多い事やと僕は思う。李白さんは大詩人。玄宗皇帝の宮廷詩人に2年間だけなった。何で宮廷詩人2年か、首になったんです。酔っぱらってね。李白さんの時代は本当に大詩人が沢山輩出した。その中に杜 甫(とほ)という大詩人がいました。皆さん方もご存知の詩「国破れて山河在り」という詩は杜 甫の詩でありますけれども。杜 甫さんはその時代に生きた8人の有名な詩人の行状を詩に書いています。李白さんに関してね「李白は町の酒場で眠りこけ、天子のお